

早いもので、今月「中央総研」の事務所新築移転が満十年になります。私は、当時六十二歳で、今後の方向を模索していました。

中小企業の八割は、親族が承継するのが通常です。残念ながら、私には事務所を継承する親族がいません。

友人からは、そろそろ引退後を考える時期ではないのかも聴かれましたが、事務所も開業して約三十年で、社員数も少しずつ増え、個人の所有物ではなくなり、社会性のある組織になりました。

同時に旧事務所では、駐車場の駐車台数も少なく、所内も手狭になりました。

親族はいなくても、今まで共に汗を流し、共に成長して来た社員の将来を考えると、どうしても、もつと広い、もつと快適な職場環境が必要でした。

不動産業を営む知り合いに、私の希望を伝え、土地を探してもらいました。何度も、地主さんと折衝してくれましたが、なかなか納得できる条件の土地は見つかりません。諦めず探し続けてもらうと、幸い野洲駅からも徒歩圏内で、三百坪の、非常に形状の良い土地が見つかりました。

JRの車中からもよく見える、宣伝効果も期待できる立地です。確かに、その後の、面接・採用では、間違いなく有利に作用しました。

古典にある、勝つための条件「天の時」「地の利」「人の輪」の一つが、我々に味方してくれました。

建築は、県内最大手の奥田工務店さんをお願いし、総二階建、建築延べ面積二百六十坪の新事務所が、無事完成しました。念願の百人収容の大会議室もあります。

地鎮祭・棟上げ式は、三重県鈴鹿市にある、椿大神社の山本宮司をお願いしました。導きの神、猿田彦を祀る神社です。我々の職業にぴったりのご縁ある神社です。導き融資をお願いした滋賀銀行野洲支店さんにも、無事、今月末で完済予定です。

三年前には若い黒岩社長に社長交代し、彼は懸命に社業に邁進してくれています。

経験がない中、最高責任者として、経営全般・人事・資金繰り等、大変な負担を掛けましたが、本人の真摯な努力や、仲間・お客様など周囲の支援で、何とか三年を迎えてくれました。自信も付いてきたと思います。私の心配も杞憂に終わりそうです。

十年は、長いようで、終わってみれば短いものです。人生、二度なし！

懸命に、熱く、一筋に歩めば、道は拓けて来るものと、この年齢になると、しみじみと実感します。しかも、人生の中で、今が一番充実しています。有り難うございます。十年の感謝を込めて。

今月のポイント

年々歳々花相似たり。
歳々年々人同じからず。

